



区では、災害時に高齢者や障害のある方などを適切に支援するため「**マニュアル・名簿を作成**」

区では、災害時に高齢者や障害のある方などを適切に支援するため「**マニュアル・名簿を作成**」

適切な支援のために マニュアル・名簿を作成

【問合せ】危機管理課危機管理係（本庁舎4階）☎（5273）4592・☎（3209）4069へ。災害時要援護者名簿への登録は地域福祉課福祉計画係（本庁舎2階）☎（5273）3517・☎（3209）9948でも受け付けています。

自助・共助・公助で防災対策 シリーズ首都直下地震に備えて⑦ 災害時に援護が必要な方への支援

地域の民生委員、区内消防署・警察署、区の関係部署に配布し、災害時の安否確認など、必要な支援のために活用しています。名簿への登録方法等詳しくは、お問い合わせください。

【申込み】電話で12月3日(月)までに議会事務局調査管理係（本庁舎5階）☎（5273）3534へ。先着60名程度。

●漱石の命日である12月9日を前に
【日時】12月7日(金)午後2時～4時
【会場】区役所本庁舎5階大会議室
【内容】講演「発信する漱石」漱石山房からの手紙（長島裕子／漱石研究家・早稲田大学講師）。当日、漱石の墓参り（雑司が谷霊園／豊島区南池袋4）を希望する方は、7日午前11時に区役所本庁舎1階ロビーに集合。講演会終了後に懇親会あり。
【費用】無料（墓参りの交通費・懇親会費は各自負担）
【主催】漱石山房の復元を進める新宿区議会議員の会
【後援】新宿区

夏目漱石を偲ぶ 漱石忌講演会

第3回新宿区伝統芸能フェスティバル



【日時】11月23日(例)午後1時から(午後0時30分開場)
【出演】▼第一部：神楽坂をどり(区地域文化財)、萩原社中里神楽(区指定無形民俗文化財)、小河内の鹿島踊(国指定重要無形民俗文化財・奥多摩町)、戸塚囃子(区指定無形民俗文化財)、▼第二部：西川扇藏(日本舞踊／人間国宝・新宿区名誉区民)
【費用】300円(中学生以下の方は無料)
【会場・申込み】当日直接、四谷区民ホール(内藤町87)へ。先着450名。
【問合せ】新宿歴史博物館 ☎（3359）2131へ。

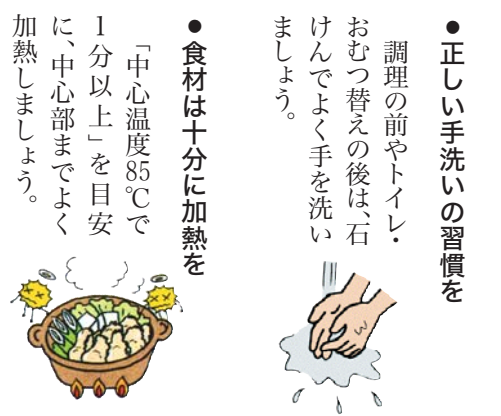
群馬県沼田市と 災害時における 相互援助協定を締結



10月30日、区役所本庁舎で協定の締結式を行いました(写真右は沼田市の星野己喜雄市長)。「新宿の森沼田」を開設している沼田市からは、東日本大震災発生直後、ミネラルウォーターが届けられ、一方、原発事故の風評被害を受けた沼田市を応援しようと、歌舞伎町や新宿駅西口で沼田市産の野菜、果物の試食・即売会を行うなど、互いに交流を深めてきました。

協定は、新宿区または沼田市で災害が発生した場合に相互に援助協力すること、被害の拡散防止と早期の復旧に役立てることが目的です。協定には食料・飲料水・その他生活必需品の供給、職員の派遣、被災者の一時受け入れなどで相互に援助協力することなどを定めています。

ノロウイルスに感染すると、1日～2日で、おう吐・発熱・下痢などの症状が出ます。症状が治まっても、1週間程度はふん便中にウイルスが排せつされます。ノロウイルスは熱に強く、消毒用アルコールはあまり効果がありません。消毒には、塩素系漂白剤(※)が有効です。

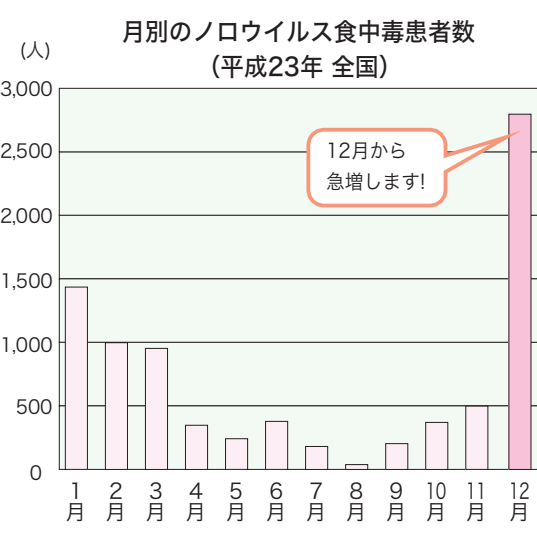


●正しい手洗いの習慣を
調理の前やトイレ、おむつ替えの後、石けんでよく手を洗いましょう。

ノロウイルスの特徴と消毒法

食中毒予防のポイント

ノロウイルスによる食中毒は冬季を中心に発生します。今年10月までに都内で958名の患者が報告されていて、これからの季節、患者数が増えることが予想されます。ウイルスの特徴を知り、しっかりと予防しましょう。



寒い冬でも食中毒に要注意！
冬はノロウイルスに特に気をつけましょう

発熱・おう吐・下痢等の症状が出る腸管感染症には、食物を介さずに感染することもあります。
排便後の手洗いが不十分だと、トイレのドアノブなどを介して感染したり、おう吐物や排せつ物の拭き残しが乾燥した結果、ウイルスが空気中に漂い、感染することもあります。
日ごろの手洗いに加え、おう吐物・排せつ物の正しい処理や消毒の方法を確認しておきましょう。

食品衛生力レンダー
2013年版を配布しています
家庭での食中毒の予防法を解説しています。数に限りがあります。
【配布場所】衛生課・保健センター！特別出張所